

報道関係者各位

2013年12月16日

～介護事業者と千葉工業大学の学生がコラボ～
**プロジェクションマッピングを用いたデジタルアートを
茶話本舗が利用者向けレクリエーションにテスト採用！
12月20日（金）にクリスマスイベントの一環として
報道関係者向けデモンストレーションを行います**

小規模デイサービス(通所介護)の拠点数国内No. 1、「茶話本舗(さわほんぽ)」事業を全国で展開する、株式会社日本介護福祉グループ(本社:東京都墨田区、代表取締役社長:小柳 壮輔、URL:<http://www.sawahonpo.com/>)は、プロジェクションマッピングと専用センサーを用いたデジタルアートを、利用者向けレクリエーションの一つとして、茶話本舗デイサービス喜楽々にてテスト採用いたします。

つきましては、12月20日(金)に同事業所にて新しいレクリエーションを取り入れたクリスマスイベントを兼ねて、報道関係者向けのデモンストレーションを行いますので、年末のご多忙の中たいへん恐縮ですが、ご出席賜りますようお願いいたします。

日本介護福祉グループは、千葉工業大学4年生松山周平さん(未来ロボティクス学科)が考案した、プロジェクションマッピングと専用センサーを組み合わせたデジタルアートを、グループが展開する茶話本舗の介護現場にて事例検証し、製品化するためのサポートを行うことになりました。

松山さんは、プロジェクションマッピングと専用センサーを用い、人の動きに合わせてセンサーが反応し、壁に光の絵が映し出されるデジタルアートを考案しました。彼の「世の中の一人でも多くの高齢者に、絵のうまさや熟練度、身体状態に左右されずアートを楽しんでもらいたい」という、本デジタルアート考案における強い思いに共感した茶話本舗は、製品化に向けて必要な様々なデータを積極的に提供しようと今回の協力を踏み出しました。



※レクリエーションイメージ



■松山周平さんプロフィール

千葉工業大学未来ロボティクス学科在籍。大学で学んだロボットの技術を、他分野で活かしていこうと作品の製作を始め、「アートも作れるエンジニア」としてメディアアートの分野で作品を発表している。

「逗子メディアアートフェスティバル 2013 小型プロジェクションマッピングコンペ」準グランプリ受賞

■茶話本舗について

定員 10 名の小規模デイサービス(通所介護)事業所として展開しており、介護保険上の基準である、5(利用者):1(介護職員)に対し、2 倍の 2.5(利用者):1(介護職員)で配置し、主に認知症高齢者に対して個別ケアの充実を図っています。「夜間ケア付き小規模デイサービス」として、全国で FC (フランチャイズ・チェーン)を展開しており、日本介護福祉グループ直営 42 事業所、FC700 事業所、計 742 事業所(2013 年 12 月末予定)で運営中です。

■日本介護福祉グループについて <http://www.jcgroup.co.jp/>

- ・社 名 : 株式会社日本介護福祉グループ
- ・本社所在地 : 〒130-0026 東京都墨田区両国 4-25-9 三和ビル 3 階
- ・主な事業所 : 北海道 東京 千葉 大阪 山梨 福岡 (直営)
その他全国 43 都道府県 (加盟店) 合計 741 事業所 (2013 年 12 月末予定)
- ・設 立 : 2005 年 5 月
- ・資 本 金 : 35,000,000 円
- ・代 表 者 : 代表取締役会長 藤田英明 (ふじた ひであき)
代表取締役社長 小柳壮輔 (こやなぎ そうすけ)
- ・事業内容 : 小規模デイサービス (通所介護)「茶話本舗 (さわほんぼ)」事業、
同フランチャイズ事業、社会福祉分野コンサルティング事業 等